

令和8年5月11日

**香川大学医学部附属病院（かだい病院）における進行性前立腺がんに対する新しい治療
ルテチウム PSMA セラノスティクス治療^{※1}開始に伴う記者発表会のご案内**

香川大学医学部附属病院では、昨年末わが国でようやく保険適応になった、前立腺がんに対する PSMA 標的ガリウム PET 検査^{※2}及び PSMA 標的ルテチウム核医学治療^{※3}を開始しました。

PSMA 標的ガリウム PET 検査は、四国地方で実施可能な施設が当院を含め現時点で 2 施設であり、香川県のみならず近隣地域の医療への貢献が期待されます。また、PSMA 標的ルテチウム核医学治療は 2025 年 12 月より導入しており、既に 9 名の患者さんに実施しています。

前立腺がんは男性のがん罹患率が部位別第 1 位であり、本取り組みは新たな診断・治療選択肢を提供するものです。つきましては、本件に関する記者発表会を下記のとおり開催いたしますので、ぜひご取材くださいますようお願いいたします。

【日 時】 令和 8 年 5 月 27 日（水）10：00～11：00

【場 所】 香川大学医学部福利厚生施設棟 2 階マルチスペース（香川県木田郡三木町池戸 1750-1）

【出席者】 香川大学医学部附属病院 病院長／泌尿器・副腎・腎移植外科 教授 杉元 幹史
放射線診断科 准教授 山本 由佳
医療技術部 部長 門田 敏秀
泌尿器・副腎・腎移植外科 学内講師 加藤 琢磨

【備 考】 取材いただける場合は、5 月 26 日（火）12 時までに、以下の URL または下部の QR コードから取材申込のご連絡をお願いします。

<https://forms.office.com/r/J4etw02DkL>

※1 セラノスティクス治療

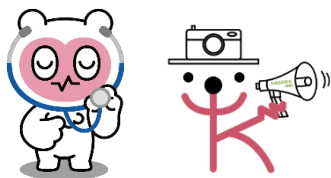
セラノスティクスとは治療（Therapy）と診断技術（Diagnostics）を組み合わせた造語で、同じ分子標的を使って診断し、その結果に基づいて治療まで行う個別化医療を指します。放射性医薬品を用いる場合、ラジオセラノスティクスと呼びます。

※2 PSMA 標的ガリウム PET 検査

前立腺がん細胞に多く発現する「PSMA（前立腺特異的膜抗原）」を標的とする診断用の放射線医薬品 68Ga-PSMA-11 を投与して PET（陽電子放出断層撮影）検査を行うことで、従来の CT や MRI では検出が難しかった前立腺がんの小さな再発や転移病変を高い精度で可視化することができます。

※3 PSMA 標的ルテチウム核医学治療

PSMA 陽性の転移性去勢抵抗性前立腺がん（mCRPC）に対し、治療用の放射線医薬品 ^{177}Lu -PSMA-617 を投与し、前立腺がん細胞を特異的に殺傷する最先端の治療法です。2025 年 11 月に国内でも保険診療として利用が開始され、新たな治療の選択肢として期待されています。



取材申込はこちらから↓



➤ 【内容についてのお問い合わせ先】

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科

TEL : 087-891-2022

【取材についてのお問合せ先】

香川大学医学部総務課広報法規・国際係

TEL : 087-891-2008

E-mail : kouhou-m@kagawa-u.ac.jp